

心理学教科目表

科目の種類	学部共通科目		心理学基礎科目				心理学専門領域科目						心理学専門隣接科目		卒業研究・卒業論文	学年ごとの人材育成目標							
			心理学基礎科目		実践・研究スキル科目		臨床・障害領域		子ども・発達領域		対人・社会領域												
	必修	選択	必修	必修	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択									
1年次	前期	人間環境学	2	海外大学単位互換科目Ⅰ	2	心理学概論	4											心理学の全体像を把握するとともに、現代社会が抱えている心理的問題に対しての臨機応変な対応を高め、必要とされる人材像を各自が持つ。					
		基礎ゼミナールⅠ	2	英会話Ⅰ	2	心理学研究法	2																
		キャリアデザイン	2	ドイツ語Ⅰ	2																		
		情報実習Ⅰ	1	日本語表現論	2																		
		英語Ⅰ	2	生態系の機能と社会	2																		
	後期																						
2年次	前期	海外大学単位互換科目Ⅱ	1	心理学プロゼミナール	2	心理学基礎実習Ⅰ	2	健康・医療心理学	2	公認心理師の職業	2	学習・言語心理学	2	社会・集団・家族心理学	2	関係行政論	2	知覚・認知心理学	2	専門的な講義による高度な知識と、実践・研究手法を身につけ、実際の問題解決を図ることができる人材を目指す。			
		英語Ⅲ	2			心理学データ解析	2											法と倫理	2				
	後期	英語Ⅳ	2			心理学基礎実習Ⅱ	2			障害者・障害児心理学	2							司法・犯罪心理学	2				
		生物資源学	2			心理学文献講読	2											コミュニケーション論	2		人体構造と機能及び疾病	2	
		環境と多文化共生	2			心理学実験法	2																
データサイエンス概論	2																						
3年次	前期	ビジネスコミュニケーション	2			心理実習	2			心理療法学	2							産業・組織心理学	2	専門的な講義と、演習形式による授業での討論を通して、学生自身の研究テーマを明確にしていく。研究を進めていく中で、これまでになかった知識や技術を身につけて、現代社会の問題解決と心の健康に寄与する思考力と実践力を持った人材を目指す。また、一部の学生は臨床心理士・公認心理師として社会に貢献する人材を目指す。			
						心理学英語文献講読	2			心理学的支援法	2												
	後期					心理学講義法(2コマ連続)	4																
						心理学面接法(2コマ連続)	4																
通年	キャリア形成演習	1			心理学専門文献講読	2			心理的アセスメント	2								福祉心理学	2	総合演習Ⅰ	2		
					心理学ケース研究	2			精神疾患とその治療	2								犯罪行動科学	2	神経・生理心理学	2	総合演習Ⅱ	2
4年次	前期					心理実習	2													心理学を基盤とした4年間の総合的な学びの総括により、単に専門的知識を有する人材ではなく、現代社会の問題への対応力を有した人材となることを目指す。			
	後期																						
通年																			スクールカウンセリング	2	被害者心理学	2	総合演習Ⅲ
通年																				総合演習Ⅳ	2		
																					卒業論文	6	
身につく知識・能力	<p>大学で学ぶ専門的な分野の諸課題を総合的に捉えるための学制的基礎を身につける。また、国際化・情報化が進化する社会で活躍するための基礎力を修得する。さらに、グローバルな視野を持ち、国際社会に貢献するための基礎的スキルを完成し、企業・地域社会などに等号する活動能力の基礎を完成させる。</p>		<p>心理学を深く学ぶ上で土台となる、心理学の幅広い領域の基礎知識、各領域の多様な研究法、研究に必要な実験・検査・調査・面接などの実務方法や多様な方法論に関する知識を体系的に学習や専門的な文献の講義を通して身につける。</p>		<p>人のこころが失調をきたす機序を理解し、失調をきたしたこころへの援助方法について、これまで臨床心理学分野や精神医学分野で積み上げられてきた知識を身につける。さらに、こころの病だけではなく、健康なこころについても理解を深める。</p>		<p>人の生涯にわたる発達段階の心理学的特徴と課題について理解を深め、洞察力を養う。さらに、人の生き方全般や、学校現場および子どもを取り巻く諸問題について、その背景要因を分析する力や援助のあり方を探究し応用する力を身につける。</p>		<p>対人関係や集団・職場における人の意識および行動についての心的過程や、家族・集団・文化が個人に及ぼす影響について説明する力、職場や組織における問題に対して必要な心理に関する支援とその方法を理解し、応用する力を身につける。</p>		<p>心理学の基礎分野である知覚・認知・神経生理に関する知識や司法・犯罪分野の知識や実践現場について学ぶことで、心理学専門領域の学びを蓄積的に捉える視点を身につける。</p>		<p>現代社会の問題や心理現象を分析・統合していく思考力、他者との相互の考え方を理解し、問題を探究していく力、他者へ働きかける表現力を修得する。</p>										